

ニカラグア定期報告（2024年10月）

【要旨】

内政面では、保健大臣の辞任が承認された他、通信ネットワーク統合法が国会にて可決された。外交面では、イスラエル政府との外交関係断絶が表明された。また、ジェンスケ外相がロシアで開催された BRICS 首脳会談に出席した。経済では、政策金利が0.25%引き下げられた。

【主な出来事】

1 内政

（1）閣僚人事

23日付官報大統領決定第183-2024号により、同日付、マルタ・ベロニカ・レジェス・アルバレス保健大臣の辞任が承認された。また、30日付官報大統領決定第187-2024号により、同日付、アルバ・アスセナ・トレス・メヒア国際政策・国際関係担当大統領顧問（当館注：駐露ニカラグア大使、その他アルメニア等8カ国のニカラグア大使を兼任）が任命された。

（2）通信ネットワーク統合法の国会での可決

ア 31日、ニカラグア国会は、「通信ネットワーク統合法（Ley General de Telecomunicaciones Convergentes）」を全会一致で可決した。同法案は、2024年3月に政府が国会に提出していたもの。同法律は、電気通信を包括的に規制し、利用者の権利を保護し、デジタル格差を解消するためのインフラ整備と通信業界の公正な競争を促進することを目的としている。同時に、29年前に制定された旧電気通信・郵便法（法令第200号）は廃止された。

イ 国会インフラ委員長によると、旧電気通信・郵便法にはインターネット、4G通信、モバイル機器、アプリケーションなどの新しい通信技術を規制する能力がなく、ニカラグア国内のネット通信のカバー率が87%まで増加している中、新しく更新された近代的な電気通信法が必要であり、同新法によりインターネット、電話サービス、その他新技術に関するサービスが全国に行き渡るようになる。さらに、現在2つの大手通信キャリアが国内通信市場を寡占している中で、公正な市場競争を促進すると強調した。

ウ 同法成立に関し、反政府系メディアは、同法第109条にて、「公共電気通信サービスの事業者およびプロバイダーは、定期的に、または郵便通信庁（TELCOR）からの特定の要請を受けた際、統計情報および地理的位置情報を含む要求されたすべての情報を提供する義務を負う。この目的のため、必要な情報は、詳細、正確、真実、適時、検証可能な方法で提供されなければならない」と規定している点等を個人情報の侵害に繋がるとして問題視している。

2 外交

(1) ニカラグア政府による新たなSICA事務局長候補の提案

ア 10月上旬、ニカラグア政府は、ジェンスケ外相を通じて、新たに3名のニカラグア人SICA事務局長候補を同加盟各国に提案した。なお、今次提示された候補者3名はいずれも女性。

イ SICA事務局長候補3名（優先順位無し）

(ア) アルリング・パトリシア・アロンソ・ゴメス：ニカラグア国会第一副議長。直近12年間ニカラグア国会議員を務めた。

(イ) マリア・アメリカ・コロネル・キンロフ：現内務大臣。弁護士。

(ウ) ソニア・カストロ・ゴンサレス：保健問題担当大統領顧問。

(2) イスラエルとの外交関係断絶表明

11日、ニカラグア政府は、同日ニカラグア国会にて全会一致で承認されたジェノサイドを非難する宣言文に則り、イスラエル政府によって実行され続けているジェノサイド、残虐、極度の憎悪、絶滅を非難し、自由、主権、独立、自己決定国家としてのパレスチナ国家の創設のために、すべての国連決議の遵守を改めて要求することを表明し、パレスチナの人民と政府及び破壊と野蛮に苦しむ人民と恒久的に連帯し、国際法、その他の全ての国家間の条約を厳格に遵守することを表明し、イスラエル政府とのすべての外交関係を断絶することを決定した。

(3) ジェンスケ外相の第16回 BRICS 首脳会合出席

報道によれば、22日～24日、ロシア・カザンにて開催された第16回 BRICS 首脳会合に出席したジェンスケ外相は、23日、グテーレス国連事務総長及びセルゲイ・リャブコフ露外務次官と懇談した。また、同首脳会合では、「パートナー国制度」の創設が決定され、ニカラグアを含む新興国の BRICS へのパートナー国としての加盟が審議された。しかし、ニカラグアのパートナー国候補入りは、ブラジルにより否決されたとのこと。なお、ラウレアノ大統領顧問もニカラグア政府代表団の一員を務めた。

3 経済（政策金利0.25%引き下げ）

9日、ニカラグア中央銀行はプレスリリースを発出し、約2年ぶりに政策金利を7%から6.75%へと引き下げた。中銀によれば、利下げの決定は、主に以下4つの理由による。1) 国際社会ではインフレは収まりつつあり、インフレターゲットに近づきつつある。また、経済面での一連のリスクは落ち着きを取り戻している。さらに、先進諸国の経済は利下げ局面に入っている。2) 国内情勢に照らせば経済活動は成長を維持している。

3) 国内インフレは低下し続けている。4) 当国通貨政策は貨幣の安定を保障しており、為替を安定させ外貨準備高レベルを強化している。

<主要経済指標>

	2022年 8月	2023年 8月	2024年		
			7月	8月	9月
年間累計インフレ率	7.58%	3.59%	3.02%	2.53%	1.69%
貿易収支 (百万ドル)	▲307.3	▲376.4	▲380.0	▲377.1	▲335.6
輸出 FOB (百万ドル)	318.3	326.4	345.6	335.1	307.8
輸入 FOB (百万ドル)	625.6	702.8	725.6	712.2	643.4
海外送金受取額 (百万ドル)	174.8	409.8	448.5	467.9	434.1
外貨準備高 (百万ドル/期末)	4,332.2	5,157.3	5,903.0	5,988.6	6,048.6

(出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁 (INIDE))

(了)